

植生タイプ別調査：昆虫類等調査（食材性昆虫）について

1. はじめに

植生タイプ別動物モニタリング調査のうち、本年度は食材性昆虫類調査を実施している。食材性昆虫については、平成 17、18 年度に同一手法による調査を実施している。食材性昆虫類は、キクイムシやカミキリムシ等の甲虫類やキバチ等のハチ類を主体とする、衰弱木や枯死木等に依存する昆虫類である。種類によって寄主の幅が広いものから狭いものまで様々で、森林の樹種構成を反映する指標となる。

2. 昆虫類等調査

(1) 調査方法

植生タイプ I～VII の対照区 14 地点（図 1）において、地上から約 1.5m の地点にカイロモン（誘引剤）として食材性昆虫を主に誘引する α -ピネンとエタノール（商品名マダラコール）を使用した黒色のサンケイ式衝突版トラップ（図 2）を設置し、2 昼夜経過後に回収した。

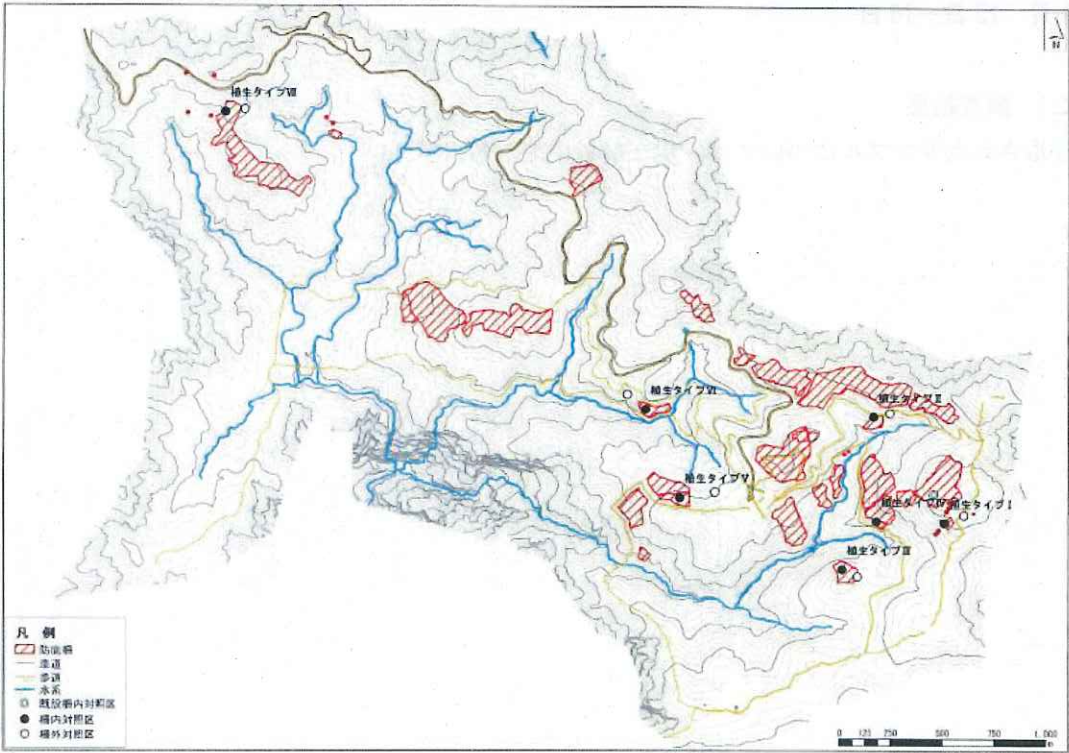


図 1 調査位置図

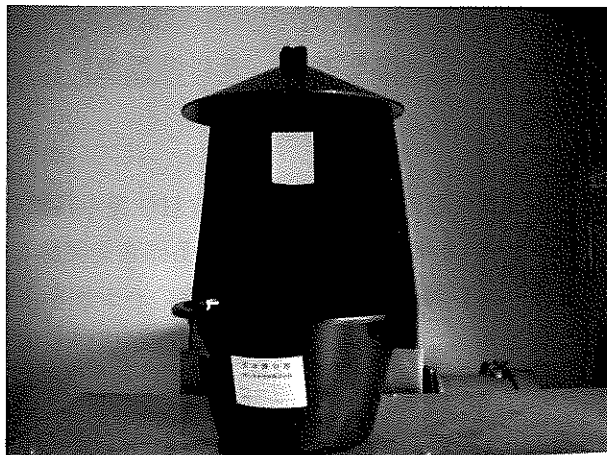


図2 食材性昆虫類調査に使用した衝突板トラップ

日程

6月 21日～24日

7月 13日～16日

7月 26日～29日

8月 23日～26日

9月 13日～16日

(2) 調査結果

採取されたサンプルについては、現在解析中である。